



婚活支援業界の変革者「パートナーエージェント」が、顧客データの確実な保護に向け、Imperva SecureSphere WAF およびDAMで構成されるUUT (ユニバーサル・ユーザ・トラッキング)ソリューションを採用し、大きな導入効果を実現



「世の中に、もっと笑顔をもっと幸せを。」という企業理念を掲げ、婚活支援業界の変革者として高い「価値」を創造し続ける株式会社パートナーエージェント（以下、パートナーエージェント）。過剰な前払い金を要求しながら、成婚率に結びつくことが少なかった従来の婚活支援業界に一石を投じた同社のアプローチは、業界内で「成婚率No1*1」「顧客満足度No1*1」という高い評価を受けています。

このように躍進する同社のビジネスを支えるのは、コンシェルジュと呼ばれるコーチングスキルを持った担当者と、Webシステムを駆使した同社のサービスプラットフォームです。B2Bという形でこのプラットフォームを協業他社に提供する新たなビジネスを開始した同社では、Webアプリケーションの安全性を担保し、効率的なセキュリティ運用ができる仕組みを模索する過程で、Impervaが提供するSecureSphereに注目。Webとデータベースの統合セキュリティを実現できる唯一のソリューションとして、その有効性を確信した同社は、最終的にImpervaの導入を決定。基幹システムに適用することで大きな導入効果をあげました。

導入の経緯：B2Bへの展開を機にWAFによるセキュリティ担保が不可欠に

結婚相手の紹介から関連イベントの企画、さらに挙式や斡旋に至るまで、婚活に関連した一連のサービスを提供するパートナーエージェントは、お客様個人に関わる非常にデリケートな情報を取り扱っているため、システム化を開始した当初から次世代型統合脅威管理（UTM）システム等によるセキュリティ対策を行ってきました。婚活支援ビジネス業界では、Webサイトを使用した形でのビジネスが主流となっており、同社においてもITシステムは重要な業務基盤となっています。しかし、ビジネスが急激に拡大し、提供する機能も高度化する中、新たな課題が浮上してきました。当時の状況について、パートナーエージェント情報システム部リーダーの田島 裕二氏は、次のように話します。

「パートナーエージェントが運用するシステムを他のパートナー企業に提供し、その婚活ビジネスに活用いただくという、B2B形態のサービスが計画されました。そして、この過程で、より堅牢で確実なセキュリティの担保、特にWebアプリケーションに関わる安全性の確保が必須となりました。また、パートナー企業に安心感を持って弊社のシステムを利用いただくためには、名前を聞くだけでセキュリティ面の心配を払拭できるような著名なセキュリティソリューションの導入が必要でした」

セキュリティ製品の選定にあたっては、Webアプリケーションファイアウォール（WAF）としての機能面に加え、ブランドとしての知名度、さらに容易な運用性という条件が挙げられました。

「実は弊社では、新たな機能を素早く開発してお客様に提供していくため、システム開発および運用を完全に内製化しています。このような内部の担当者が、その限られたリソース内で取り扱えるような容易な運用性をもったセキュリティソリューションが不可欠だったのです」（田島氏）。

条件に合致する製品を選定する過程で、Impervaを含め2社が候補となりました。そして、両社にコンタクトして情報収集する中で浮上してきたのが、WAFおよびデータベースの統合セキュリティ管理を実現するImperva SecureSphereのUUT（ユニバーサル・ユーザ・トラッキング）ソリューションでした。Webアプリケーションファイアウォール製品であるSecureSphere WAFと、データ監査機能、DAM（Database Activity Monitoring）のコンビネーションで、データを含めた一貫したセキュリティ管理が実現できるImpervaは、当初同社が想定していたセキュリティソリューションの枠を超える魅力ある製品でした。



PARTNER AGENT

顧客名

株式会社パートナーエージェント

課題と導入要件

- B2Bビジネスの展開で、WAF機能の導入によるセキュリティ担保が急務に
- 決して潤沢とは言えない人的リソースでも実施できるセキュリティ運用の実現
- 協業先に安心化を与えるセキュリティベンダーとしての認知度
- Webアクセスに加え、最も重要な顧客情報を確実に保護する優れたセキュリティ対策の実現

ソリューション

Imperva SecureSphere WAFとDAMによるUUTを活用することで、Webアクセスからデータベースアクセスまでを含めた一貫したセキュリティ対策と監査を実現

導入効果

- 高い運用効率の下でのWebおよびDBに関する確実なセキュリティ確保
- Webアクセス、DBアクセスに関する監査対応の1本化
- DBアクセス監査機能を活用したアクセス機能の適正化
- セキュリティ面に関するB2B協業企業の安心感の醸成

*1: 株式会社ネオマーケティング 2016年8月調査



株式会社パートナーエージェント
情報システム部
リーダー 田島 裕二氏

採用のポイント：UUTによるWAF+DBの統合セキュリティ管理で、最も重要なお客様情報を確実に保護できるImpervaの採用を決定

通常、Webサイトにおけるデータベースの利用では、データベースへのアクセスに使用されるアカウントは全体共有のIDとなるため、Webにアクセスした利用者のトランザクションとしての一貫した管理はできません。しかし、Impervaが提供するSecureSphereのユニバーサル・ユーザー・トラッキング (UUT) 機能では、Webアクセスとデータベースアクセスを紐付けて管理することができます。また、本機能実現のコアとなるDAMでは、DBアクセスログの取得に留まらず、予めポリシーを設定しておくことで、不正なアクセスがあった場合にアラートを発行したり、アクセスをブロックすることが可能です。これによりアクセス証跡の管理だけでなく、データベースからの情報漏えいを未然に防ぐことができます。

「お客様情報の保護が最重要課題となる弊社にとって、データベースの確実な保護や監査が実現できるDAM機能は、最大の差別化要因となりました。本機能とSecureSphere WAFによるWebアプリケーションファイアウォール機能を実現したUUTの存在によって、Impervaの採用を決断しました。他社には実現できない唯一のソリューションだったからです」(田島氏)。

こうして2014年12月25日、パートナーエージェントは、Imperva SecureSphereを正式に導入。サービスプラットフォームを支えるセキュリティ基盤として実運用を開始しました。

採用効果：協業企業の安心感醸成、DBアクセス機能の適正化、監査対応の1本化そして高い運用効率での確実なセキュリティ対策実現

導入から約2年半の実運用を通じて、Imperva SecureSphereの導入メリットは、さまざまな面で現れました。想定内、想定外も含め、田島氏は導入効果について次のように話します。

「当初の狙い通り、B2Bでのパートナー企業様に安心感を持ってもらえた点は勿論ですが、協業にあたって実施されるセキュリティ監査では、“Impervaを使用している” というだけで、確認工程がスムーズに運びました。さらに、全く想定外ではありましたが、DAMによるデータベースアクセス状況の詳細な把握により、アプリケーションからDBに向け発行されたSQL文の改善余地が判明したことがあります。つまり、より適正なデータベースアクセスのためのチューニングという用途でも大きな効果が発揮されたこととなります」

ビジネスの拡大に伴いデータ量が急増する中で突然発生した、パフォーマンスの劣化というサービス事業の根幹を揺るがすような事態。しかし、田島氏がとっさの機転で「UUTを使えば正確な状況把握ができる」と判断し、短期間でパフォーマンスを改善することができました。これは同社にとって“想定外の”大きな導入効果でした。

お客様コメント

Impervaは、危険を必ずブロックすると共に、絶えずコンソールを眺めていなくても危険の発生をアラートで告知してくれます。限られた人的リソースでも確実かつ容易にセキュリティを担保し、重要なお客様情報を守れることが、最大の導入メリットだったと実感しています。

株式会社パートナーエージェント
情報システム部リーダー 田島 裕二 氏



勿論、WAFによるWebアクセスのコントロールと、DAMによるデータベースの確実な保護・監視・管理を実現するという最重要課題についても、導入効果が得られました。「B2Bの協業先からは、ブルートフォース攻撃やクロスサイトスクリプティングの停止手順などといったセキュリティ要件が提示されます。これら、迅速かつ容易に対応できるのもImpervaソリューションの導入効果だと考えています。変わった対応としては、ハニースポットをトラップとして用意し、アタックされたら対象をブラックリストに追加するという運用も行っていますが、このような対応もImpervaがあったからこそ可能になったと考えています」(田島氏)。統括的な監査という点でも導入効果は明らかでした。

「Webアクセスとデータベースアクセスの監査ログの管理を1本化できたことも大きな導入効果でした。SecureSphereだけを使って、両監査内容の管理やレポートができることで、運用面の効率化に加え、分析における精度や迅速化という面でも非常に大きなメリットが得られたと考えています。最近は複数の監査情報をまとめるためのソリューション製品も登場していますが、Impervaがあれば、そのような製品を導入する必要もありません」(田島氏)。

パートナーエージェント参画前には、ネットワークセキュリティの専門企業に在籍していた田島氏の目から見ても、Impervaの提供ソリューションは非常に有効なものとなっており、その導入効果を総括して田島氏は、「Impervaは、危険を必ずブロックすると共に、絶えずコンソールを眺めていなくても危険が発生すれば、それをアラートですぐに告知してくれます。セキュリティ対応に多くの専任担当者を割り当てることは現実的に困難ですが、限られたリソースでも確実にセキュリティを担保し、重要なお客様情報を守れることが、最大の導入メリットだったと実感しています」と強調します。

今後の展望:セキュリティ全般の監査・チェック機能を強化

Imperva SecureSphereによって、期待通りの、そして期待以上の導入効果を実現した会社ですが、既に今後のシステムセキュリティ機能拡張にもその眼を向けはじめています。

「Impervaによって、WebアクセスやDBアクセスに対する監査や安全対策が充実してきましたが、今後はセキュリティパッチなどの運用についても、マニュアルからシステム化への対応を進めます。これによって、セキュリティ全般に関わる監査やチェック機能をさらに強化していきたいと考えています」(田島氏)。

婚活支援業界の変革者として走り続けるパートナーエージェント。

その足回りとも言えるビジネスプラットフォームをセキュリティ面から確実に支えるImperva SecureSphereは、既に会社にとって不可欠な存在となっています。



株式会社 Imperva Japan

www.imperva.jp

Mail: FM-Japan@imperva.com

TEL: 03-6263-0671

パートナーエージェントは、Impervaによって大きな導入効果を実現しました。

「お客様情報の保護が最重要課題となる弊社にとって、データベースの確実な保護や監査が実現できるDAM機能は、最大の差別化要因となりました。本機能とSecureSphere WAFによるWebアプリケーションファイアウォール機能を実現したUUTの存在によって、Impervaの採用を決断しました。他社には実現できない唯一のソリューションだったからです」(田島氏)